

タイトル	2025 年度 学校推薦型選抜 共同教育学部学部特別支援教育専攻 小論文問題 面接
評価の ポイント	【小論文】 (評価のポイント) 学校教育および特別支援教育に関する関心度に加え、総合的な思考力、問題解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。 ・ 課題文における著者の意図を読解できているか。 ・ 障害のある子どもや家族への配慮について理解ができているか。 ・ 大学で学ぶことへの意欲を示すことができているか。 (解答例) 問 1 現代科学は動物実験の恩恵により発展してきた。その反面、反対の声も多く、特に遺伝子操作の安易な実施には否定的な意見もある。そのため研究者には動物実験に関する法律の規定のもと、厳しい制約の中で研究を行うことが課せられている。実験開始時も終了時も所定の書類の提出が義務付けられ、特に遺伝子組み換えには開始に至るまでに厳しい審査が必要となる。動物愛護法において重要とされるのは「3R の原則」、すなわち動物使用の削減、苦痛の軽減、代替方法の検討である。そのため、実験計画段階で動物の負担を最小限にする工夫や、培養組織の使用可能性を慎重に検討する姿勢が重要である。(276 文字) 問 2 障害のある子どもやその家族を対象に研究を行う際には、動物実験以上にさらに倫理的な慎重さが求められる。「3R の原則」に照らすならば、第 1 に、本当にその子どもやご家族にお願いする回数、時間は最小限にとどめなければならない。第 2 に、長時間の拘束を避けたり、途中で休憩を挟む、子どもの興味関心に沿った遊びを取り入れるなどで苦痛をさけなければならない。第 3 に、本当にその子どもやご家族を対象にした研究が必要なのか、すでに結果が出ている過去の研究でわかることはないのかを十分に吟味しなければならないといえる。 また、この研究を実施する目的と方法について、十分な説明と同意を得ることも不可欠であるし、その目的が私自身の「卒業研究」のためだけでなく、ご本人やご家族のために行われるものであるかどうかを吟味した上で、その意義についても説明をしなければならないであろう。 上記のことを行うためには、まずは私自身が「なんのために卒業研究に取り組むのか」について熟考し、回答を用意しておかなければならない。卒業研究の意義は、私自身にとっては、4 年間の大学での学びの集大成であり、単なる知識の集積ではなく、卒業後に特別支援学校教員として様々

	な困難さを抱える子どもたちが直面する教育上の課題に対して、自ら考えて問題を設定し、解決方法を見いだしていく方法を、実践的に身につけることではないかと考える。このことは、私が技術の高い教員になることで様々なお子さんを支援していくという形で、結果的に社会に還元していきたいと対象者ご家族に説明したい。しかしそれだけでなく、できる限り研究そのものを、そのお子さんやご家族の困り感に寄り添ったテーマを設定することで、直接的に成果がご本人に寄与するものであることが理想であるし、そのような研究をしていきたいと考える。（761 文字） 【面接】（評価のポイント） 将来、教員になるにあたっての資質を現段階において備えているかを判断するために 面接試験を実施している。面接者の質問に適切に対応できているか、特別支援教育専攻 に対する志望動機が明確か、基本的なコミュニケーションスキルや協調性を備えているか、教育実習を適切に行うことができるか等から評価している。
--	--

<作成例>